



すももだより

まどか保育園 一時保育
 さいたま市中央区円阿弥7-10-9
 TEL/FAX 048-851-6123
 HPアドレス <http://madoka.carrots.jp>



日中はまだまだ夏と変わらず暑い日が続いていますが、少しずつ日が落ちるのもはやくなり、朝晩はすっかり過ごしやすくなりました。秋はすぐそこまできています。



今月の予定

- 6日(土) 子育てリトミック
- 15日(月) 敬老の日
- 20日(土) 子育てキッズダンス
- 23日(火) 秋分の日
- 27日(土) 子育て講演会

活動内容

- 外で元気よく遊ぼう！
園庭遊び
- お部屋でのびのび過ごそう！
広告遊び、お花紙遊び
- 作ってみよう！
きのご製作

5つの味覚

味には「甘味」「旨味」「塩味」「酸味」「苦味」といった5つの基本味があり、それらの味を、口内全体や舌や喉などにある味蕾（みらい）という器官で感じとります。

★味覚の役割★

「甘味」…ごはん、パン、麺などに含まれる**炭水化物=エネルギー源**の存在を教える役割。「旨味」…肉や魚などに含まれる**アミノ酸=たんぱく質**の存在を教える役割。「塩味」…塩などに含まれる**ミネラル**の存在を教える役割。この3つの味は、生きていくために「体にとって必要な食べ物」を伝えるため、**本能的に好まれる味**とされています。その一方で「酸味」は、**腐敗物の存在**を教える役割。「苦味」は、**毒物の存在**を教える役割があり、この2つの味は、体を守るために避けるべき「危険な食べ物」を伝えますから、初めは**受け入れられない味**とされます。

そのため、子どもには「苦味」「酸味」を感じる野菜や酸味の強い果物など、もともと苦手とする物があります。ピーマンやほうれん草など、歯で噛むとえぐみや苦味が出る野菜を嫌がるのは当たり前のこと。「苦味」「酸味」は、**何度も経験することで徐々に慣れていく味**なのです。食経験を重ね、さまざまな味を受け入れられるようになっていくと、味覚は発達していきます。

9月9日は救急の日

救急の日は、救急について関心や理解を深めようという日です。救急とは、急に大変なことが起こった時に救うこと。特に、急に病気になった人や、怪我をした人に応急の手当てをすることです。

家庭の中にも事故や怪我を招く危険なものがたくさんあります。事故を防ぐために、確認をしてみましょう。

- ◎子どもの手の届く場所に置いてはいけない物（薬、洗剤、たばこ、ライター、ポット、炊飯器、包丁などの刃物、針、子どもが飲み込める大きさの物）
- ◎階段に柵はついているか
- ◎ベランダに踏み台になるものは置かない
- ◎コンセントなどに触れないようにする
- ◎遊び食べに注意する（食べ物に詰まることがある）
- ◎浴室には子ども一人で入れないように工夫する

子どもの年齢に合わせた見直しを定期的にしましょう。

